



## 「今」がチャンス

「過去は変えられない、でも未来は変えられる」「過去も未来も変えられる」皆さんはどちらだと思いますか。

試験があるので眠りたいが眠れなかった。

緊張や興奮でこういった体験をし、その結果、失敗してしまったということは、多くの人があるのではないだろうか。

これから起こることは変えられるが、既に起きたことは、どれだけ悔やんでも変えられない。もう一度過去に戻ってやり直さないかぎり無理である。しかし、「今」に感謝し、幸せだと思える瞬間に出会えたとしたら、その時は、過去の出来事のすべて糧をとして「今」の自分があるのだ、過去を変えることができたのだ、と思えるのではないだろうか。「今」を受け入れず否定的に考えれば、永久に過去が変わることはなく、未来も不遇の連続となってしまう。

とある心理学者は、「死ぬ1日前まで自分自身を変えられる」と述べている。禍を転じて福となす。考え方の視点を変えてみることで、人生を豊かにできるコツなのであろう。

## 「電気設備の点検」の電話や訪問に注意！

町内で「電気整備の点検」と偽り、高額な修理代を請求される相談が増えています。

【事例1】「電気設備の点検に伺う」と自宅に電話があり、大手電力会社と思い承諾した。業者は会社名も告げず、家に入り「分電盤の修理が必要。30万円だ」と迫ってきた。

【事例2】大手電力会社を名乗り「電気設備の点検です」と突然の訪問があった。外を見回り「分電盤を見たい」と家に入り「交換しなければ火事になる」と強く言われた。

【事例3】前日に電気設備点検訪問の電話があったが誰も来なかった。大手電力会社に聞くと「点検の電話はしない」と言われた。電話で家族構成等話してしまった。

## 消費生活センターからのアドバイス

- ・関東電気保安協会(大手電力会社から委託)は電気設備安全点検を4年周期で実施しています。点検の際は、事前に予定日を「電気設備安全点検訪問日のお知らせとお願い」でお知らせしています。
- ・関東電気保安協会は電話、急な訪問、分電盤更新の営業は一切しておらず、調査員は必ず「勤務証」を携帯しています。提示を求めてください。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188 局番なし 又は ☎984-7208

人権  
それは 愛

## 平等な社会を目指して

問合せ

教育文化振興課 ☎991-1873

企画財政課 ☎991-1815

大正11年(1922年)3月3日、我が国初の人権宣言といわれている「水平社宣言」が出されました。この宣言は、被差別部落の人々が差別からの解放を目指して創立した「全国水平社」の創立大会で読み上げられたといえます。

「水平社宣言」の「水平」という言葉には、「人間は生まれながらに平等な存在である」という理念が込められています。この宣言は、「人間を尊敬し、大切に合うことで差別はなくしていける」という思いと共に、「全ての人々がどんな差別も受けることなく、人間らしく生きて行ける社会の実現」を目指したものでした。

近年ではスポーツの世界においても、「サッカー」リーグの「3つのフェアプレー宣言」(ピッチ上の

フェアプレー、健全な経営の実践、差別根絶等を含む社会的責任を果たすこと)やバスケットボールBリーグの「Cheer with smile, Cheer with respect」(笑顔と敬意をもって応援しよう)などが試合の際に読み上げられ、メディアやSNSを通し発信されるなど、「水平社宣言」の理念のもと差別や誹謗中傷等の不当な行為の根絶に向けた様々な取り組みが行われています。

皆さんも、差別行為を他人事とせず、自分の事としてとらえ、次世代を担う子ども達のためにも、全ての人の人権が尊重され心豊かな社会の実現を目指し、一人ひとりが差別や誹謗中傷をなくすことについて考えてみましょう。